

(氏名) 若林 隆久	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>(1) 研究</p> <p>① 研究成果</p> <p>【論文など】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 若林隆久 (2017)「学園祭の模擬店運営を通じたアクティブ・ラーニングの実践と課題」『地域政策研究』第20巻第2号, 125-135. 2. 若林隆久 (2018)「学生起業を支える発達のネットワーク：株式会社かあちゃんのまごころの事例から」『産業研究』第53巻第1・2号, 164-172. <p>【口頭発表・講演など】</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 若林隆久 (2017)「ネットワークとソーシャル・キャピタル」高崎経済大学, 高崎中央公民館. (2017年6月3日) 4. 若林隆久 (2017)「能力の発見・育成とセレクション：アパレル産業におけるメーカー・サプライヤー関係の事例から」進化経済学会 企業・産業の進化研究会, 東京大学. (2017年7月26日) 5. 若林隆久 (2017)「ネットワーク組織論：個人間のつながりと組織のパフォーマンス」日本生産性本部 会員月例研究会, 東京：日精ホール. (2017年11月15日) 6. 若林隆久 (2017)「ネットワークの視点から見るリーダーシップ：最近の研究論文から学ぶ定量研究の手法と意味」東大アウトリーチ企画 MERC 丸の内院生ラウンジ 経営学サロン, 東京：三菱ビル 10階コンファレンススクエア エムプラス. (2017年11月16日) 7. 若林隆久 (2017)「「ネットワーク組織論」の視点で考えるこれからの個人と組織関係とHRM」人事制度研究会, 東京：日本生産性本部. (2017年11月24日) <p>【その他】</p> <ol style="list-style-type: none"> 8. 若林隆久 (2017)「私のフィールドノートから：職場におけるコミュニケーション」『高崎経済大学地域科学研究所ニューズレター』7, 7-9. <p>② 研究費</p> <p>(A) 科学研究費助成事業・若手研究Bの課題番号16K17173「個人の持つネットワークがキャリアに与える影響の定量的・定性的研究」(2016年度～2017年度、研究代表者：若林隆久)が継続された (http://kaken.nii.ac.jp/d/p/26885061.ja.html)。</p> <p>(B) 三井デザインテック株式会社との共同研究「オフィスにおけるコミュニケーションについて」(2017年10月～2018年3月)を行った。</p> <p>(C) 平成29年度高崎経済大学競争的研究費・特別研究助成金(個人)に「大学における起業家教育のためのアクティブ・ラーニングの方法の探究と実践」が採択された。</p> <p>(D) 平成28年度地域科学研究所研究プロジェクト「空家特別措置法施行後の空き家対策に関する総合的研究」が継続された(研究分担者)。</p> <p>③ 「組織におけるキャリアとワークスタイル」研究会開催</p> <p>高崎経済大学地域政策学会「学生向け学習・研究支援プログラム助成」の助成も受け、高崎経済大学地域政策学会の助成も受け、研究教育活動の一環として「組織におけるキャリアとワークスタイル」研究会を8回開催した。</p>	

(2) 教育

① 講義

前期には「初年次ゼミ」と「経営学」、後期には「経営分析／財務諸表分析」と「産業立地論」の講義を担当した。また、講義のゲストスピーカーとして、「アーツマネジメント論」において「アートに関するエトセトラ」と「アートとマーケティング」、「グループ研究Ⅱ：大学生のための起業塾」において「起業のためのマーケティング」といった講義を行った。さらに、「地域政策を考える」の担当回で講義を行った。

学外においては、多摩美術大学の「テキスタイル入門」の講義においてゲストスピーカーとして「テキスタイルデザインとビジネス」という講義を行った（11月30日）。

② 演習

演習Ⅰ・Ⅱでは、通常の演習の時間に加えて課外活動として、インナー大会、三扇祭への模擬店の出店、第5回地域政策学部プレゼンテーション大会、1泊2日の合宿、を行った。また、来年度の演習Ⅰ生を対象として後期に9回のプレゼミを実施した。さらに、3月1日～5日にかけてベトナム・ホーチミンにおいて海外研修を行った。

(3) 社会における活動

① 一般社団法人経営研究所「人材開発と組織」研究会 コーディネータ

経営研究所の「人材開発と組織」研究会において、コーディネータを務めた。

② 日本生産性本部・経営アカデミー「組織変革とリーダーシップコース」講師

日本生産性本部・経営アカデミーの「組織変革とリーダーシップコース」において、「リーダーシップ論」、「グループ研究の進め方」及び「ネットワーク組織論」の講義を行った。また、グループ指導講師を務め、「チームを活性化させるリーダーのコミュニケーション論」という論文作成の指導を行った。

③ 岡田商事社内大学講師

2017年度岡田商事社内大学において、10月13日・12月8日に「営業のマネジメント」の講義およびケース補助を担当した。

④ 千葉大学成果活用型ベンチャー「ゲノムクリニック」倫理審査委員会・委員長

千葉大学成果活用型ベンチャー「ゲノムクリニック」(<https://www.genome-clinic.com/>、代表：曾根原弘樹)の倫理審査委員会において委員長を務めた。

⑤ 高校における出前授業など

- 「地域づくりと経営」（7月4日、群馬県立伊勢崎清明高等学校）
- 「身近な商品から考える経営学とリーダーシップ」（11月2日、埼玉県立松山高等学校）
- 筑波大学附属駒場高等学校における進路懇談会（11月11日）

2 その他の事項

- 教務委員、キャリア支援センター運営委員、地域科学研究所・総務企画委員などの学内業務を行った。また、群馬大学を中心として実施されている「グローバル・ハタラクラスぐんま」のシンポジウムに出席した（3月16日）。

3 次年度以降の計画・抱負

研究面では、調査協力企業と共同研究契約や守秘義務契約を締結して2017年度に開始した調査研究を引き続き進めていく。また、最終年度を迎える平成28年度地域科学研究所研究プロジェクトの成果をまとめるとともに、新たに開始する平成30年度地域科学研究所研究プロジェクト「地方都市における中小製造業の存立基盤に関する研究」に加わり調査研究を遂行する。さらに、教育面では、特に少人数講義の質を高めるとともに、2017年度も実施した海外研修を実施したい。